

「チャンスの神様は前髪しかない」という格言があります。——「チャンスがやって来たらすぐに掴みなさい。通り過ぎてしまってからでは後ろ髪がないので掴めない」という意味です

BST
コメント

この格言の本質は「**チャンスを掴む技術をいくら磨いても、アンラーニングして脳の中の環境を整えておかないとチャンス自体に気付けない**」ということです

例えば、あなたが「将来不安を感じる」のは「脳がアンラーニングを求めている」ということ。——脳が「アンラーニングしてチャンス到来に気付きなさい！」と警鐘を鳴らしているのです

BST
コメント

チャンスがチャンスであることに気付くには、脳の中を「余白のある状態」にしておく必要があります。発想や／思考スタイルが硬直したりガチガチに詰め込まれていると、今目の前にあるものにしか関心が向かないので、チャンスを見過ごしてしまいます。——**これでは自分の将来への可能性に気付くことはできません**

アンラーニングをして残ったものの中に「自分らしさ」があり、「自分の本当に好きなこと」や「自分が本当にやりたいこと／やるべきこと」があります

BST
コメント

「得するか損するか」などから脳を切り離して世の中を眺めると、「楽しい／面白い／関心がある」ことが見つかります。——**そして「どう生きたいのか」に気付けます**

誰もが、狭いトンネルの中で何らかのフィルター（＝思い込み／悲観的な見方）越しに自分や未来を見ていることに気付いていない。だから、外で変化が起こっても「何が起きているか」を掴めない。トンネルの中でフィルター越しに考えても、次の選択肢は狭まっていくばかりです

BST
コメント

正解のない問題が次々に現れる今の時代は、“既視感”（≡ デジャブ：問題の本質や解決策をモノにしていけないのに、既に分かっているように思ってスルーしてしまう）を持つことが一番危険です。——そもそも関心があるから“既視感”を持っているのだが、“分かっているつもりの範囲”に無理やりはめ込もうとする姿勢では“破綻”を招いてしまいます